

募集要領

農林水産省は、全国の小学校4年生～6年生の子どもたちを対象に、それぞれのふるさとや家庭の郷土料理について調査及び発表を行う「第2回 日本全国こども郷土料理サミット」の発表者を募集しています。

子どもたちが、家族、地域との対話を通じて、
「ふるさと＆わが家の郷土料理」を学び、調べ、発表し、
日本各地の郷土食文化を体験するイベントです。

- 企画趣旨 -

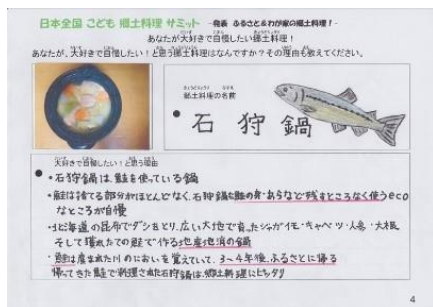
郷土料理とは、その土地の地域的な条件や気候風土を背景とし、先人の創意工夫のもと生まれた料理であり、時を越え、その土地の誇りとして伝えられてきました。しかしながら、現在、食卓の個食化、行事の簡素化がすすむなど、日本食文化の伝承の機会は減少をたどってきています。

2013年7月に行われた生活者調査（出典：農林水産省『日本食文化への意識向上に関する事業インターネット全国調査』2013年7月）によると、「日本食文化について、もっと理解を深めたい」とする割合は73パーセントにのぼり、日本食文化を維持・継承することを重要視する意識は高いものとなっています。また、同年12月には「和食；日本人の伝統的な食文化」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。これを契機に、農林水産省は国民への日本食文化に対する再認識をうながす取組を進めています。

日本食文化への認識を、実際に維持・継承につなげていくためには、未来を担う子どもたちによる主体的な取組がとても重要だと考えます。

このため、農林水産省は昨年に続き「日本全国こども郷土料理サミット」を開催します。子どもたちが、ふるさと＆わが家の郷土料理を調べ、大勢の人たちに向けて、発表します。

自らの発表と共に、他地域に住む子どもたちの発表を聞き、日本各地の郷土食文化に触れる機会をつくり、食をきっかけとしたコミュニケーションを生む機会を設け、またそれを聞く大人たちも、郷土料理・郷土食文化の魅力を再認識することを目指します。



子どもたちがワークシート
形式で郷土料理を調査



選拔者による日本全国
の郷土料理を発表



子どもたちが発表した
郷土料理の試食会

※写真は第1回の様子

| 開催概要



- 1) 趣旨
子どもたちが、それぞれのふるさとや家庭の郷土料理について、調査及び発表を行い、交流を深めることを通じて、日本全国に伝わる「郷土食文化」への関心と理解を深めることを目的として、全国の小学校4年生～6年生の子どもたちを対象に、「第2回 日本全国こども郷土料理サミット」（主催：農林水産省）を開催します。本サミットは農林水産省「日本食・食文化の世界的普及プロジェクトのうち郷土食継承のための青少年への情報発信事業」の一環として行います。
- 2) 主催
農林水産省 （協力：「和食」文化の保護・継承 国民会議）
- 3) 募集内容
あなたの自慢したい「ふるさと＆わが家の郷土料理」
(地域、家庭での対話を行い、学ぶ、ワークシート形式)
- 4) **①1次審査**
 - a 応募資格
小学校4年生から小学校6年生の児童で、保護者1名と共にサミット前日及び当日に、開催場所に集まれること。(開催場所までの交通手段、宿泊先の手配、及び費用支払いは運営事務局にて行います)
 - b 応募方法
応募用紙に必要事項を記入し、応募期間内に下記「5) 問い合わせ先」まで送付してください。また、応募用紙は返却いたしません。
(下記ウェブサイトより応募用紙をダウンロードできます)
<http://kyodoryori.jp/kodomo2014/>
 - c 応募期間
平成26年 7月14日(月) ～ 10月6日(月) ※当日消印有効
 - d 審査
審査員による厳正なる審査(書類審査)を行い、9ブロック選抜者を決定します。
 - e 審査発表
10月中旬に運営事務局から選抜者へ直接連絡することで、代えさせていただきます。選抜者は下記サミットにおいて郷土料理についての発表を行ってまいります。

1次審査を通過した選抜者にサミット当日の詳細な内容(会場やタイムスケジュールなど)、サミットにおける発表内容を資料送付します。当日の発表内容については次ページ以降を参照してください。当日まで、運営事務局担当者が責任をもってサポートします。

②サミット

- a 開催日時
平成26年 11月24日(休日) 13:30～16:00頃を予定
(当日スケジュールは後日発表者へお伝えします)
- b 開催場所
東京都内イベントホール(開催場所は後日発表者へお伝えします)
- c 最終審査
表彰
ステージ上で選抜者が郷土料理の発表を行い、審査員が最終審査をします。
その後、表彰式にて各賞を選抜者へ授与します。

5) 問い合わせ先(応募用紙の送付先)

(運営事務局)

〒105-0003 東京都 港区 西新橋2-33-4 プレイアデ虎ノ門9階(ロケーションリサーチ内)

宛先：日本全国こども郷土料理サミット(担当：粟井(あわい)) 宛

電話番号：03-6450-1268(10時から17時まで、土日祝日を除く)

E-Mail：info@kyodoryori.jp

最新情報は下記ウェブサイトにてご覧いただけます。

<http://kyodoryori.jp/kodomo2014/>

| スケジュール

応募締め切りは「10月6日（月）」です。
※当日消印有効

7月

8月

9月

10月

11月

12月

応募期間（ブロック予選）

平成26年7月14日（月）から
平成26年10月6日（月）まで

1次審査

平成26年10月中旬



**日本全国こども郷土料理サミット開催
（各賞表彰式）**

平成26年11月24日（休日）

優秀作品をウェブサイトなどで掲出

平成26年12月より順次

1) 1次審査について

- ①1次審査 応募作品は、審査員が郷土料理の下記基本項目が記述されているかを確認、及び下記審査基準にて採点を行い、審査基準3項目の総合得点よりブロック毎の選抜児童、1名を決定します。

基本項目： 郷土料理の基本要素、郷土料理の文化的背景要素、郷土料理の次世代への伝承要素

審査基準： 調査力、構成力、絵や写真を用いた表現力

② 1次審査通過者への連絡事項について

サミット当日の詳細な内容を連絡します。詳細は次ページを参照してください。

ブロックについて

北海道ブロック：北海道
東北ブロック：青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県
関東ブロック：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、静岡県
北陸ブロック：新潟県、富山県、石川県、福井県
東海ブロック：岐阜県、愛知県、三重県
近畿ブロック：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県
中国四国ブロック：鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県
九州ブロック：福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県
沖縄ブロック：沖縄県

2) サミットについて

- ① 最終審査 9ブロックの選抜者9名が都内会場に集まり、それぞれの発表を踏まえ、当日審査員が下記審査基準にて採点を行い、それぞれの審査基準、審査員合計点ごとに各賞を決定予定。同点の場合は審査員による最終審査を行います。

審査基準： 調査力、構成力、表現力、郷土愛、印象点、総合プレゼンテーション力

- ②表彰 **総合グランプリ（1名）**
：上記審査基準6項目、審査員の合計得点にて審査

調査力賞、構成力賞、表現力賞、郷土愛賞、審査員賞(※2)（各1名）
：審査基準各1項目、審査員の合計点にて審査（※2）審査員賞：印象点より

郷土料理応援賞（4名）
：他、発表者へ授与

1) 選抜通知

10月中旬、運営事務局より、各ブロック1次審査通過者へ審査通過の旨を連絡します。
併せて、当日詳細資料（会場、タイムスケジュール、発表についてなど）を郵送します。

2) 発表用資料作成

下記、発表用資料の作成を開始してください。詳細は送付資料にて説明します。

1. 1次審査にて作成した応募用紙を清書した発表用シート
2. 当日発表用のコメント用紙
3. 「ふるさと＆わが家の郷土料理」をテーマとした作文 ※原稿用紙2～5枚、800-2,000文字内

「ふるさと＆わが家の郷土料理」作文内容例

- ・郷土料理を調べた時に、色々なひとの話を聞いて、感じたこと。
- ・この料理をなぜ「自慢したい!」と思ったのか。特に伝えたい点や自慢したい点。
- ・これからこの郷土料理を誰にどうやって伝え続けていきたいか。

3) 当日へ向けたフォロー

運営事務局が、上記2の資料作成をメール、電話、FAXにてサポートします。

4) 開催前日

都内会議室にて、発表者9名によるリハーサル、懇親会を行います。
（発表者はその後、運営事務局手配の宿泊施設にて一泊）

5) 「日本全国こども郷土料理サミット」当日

発表者は、都内イベントホールにて、一般観覧客を前に壇上へ。

発表用資料をスクリーンに投影し、コメント用紙、原稿用紙を読み上げ、

「ふるさと＆わが家の郷土料理」を発表します。